



多目的利用型ティラーシリーズ

BIRDIE MARRON PICKER

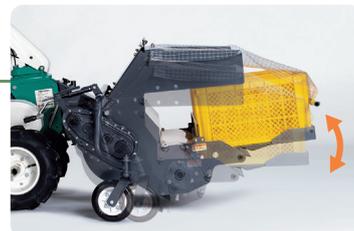


栗の収穫をもっと楽に

BX800/M8-MP750

馬力 8ps	収穫幅 750mm	コンテナ 2個	最大能率 2反/h	ハンドル 上下	ハンドル 左右	サイド クラッチ
-----------	--------------	------------	--------------	------------	------------	-------------

¥869,000 (税込10%)
(本体価格 ¥790,000)



高さ調節可能

ブラシ高さは無段階で調節可能。圃場にあった最適な高さで収穫率を高めます。



折り畳み可能

移動時には折り畳むことでコンパクトになります。



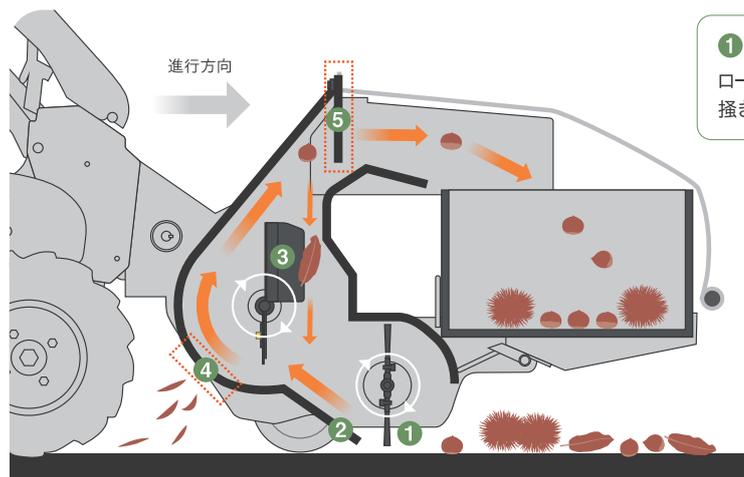
高い収穫率

回転ブラシとスクレーパー機構により、穂はもちろん果実単体の収穫率も高めます。

POINT 作業機を付け替えることで草刈にも使用できます



栗収穫機の仕組み



① ブラシドラム

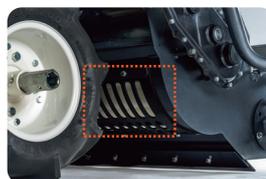
ロータリー内へ栗を掻き込む

② スクレーパー

栗がロータリー内に入りやすくする

③ 投射フラッパー

栗を前方へ投射する



④ ロータリー後方スリット

穂・果実と一緒に取り込んだ草などの小さなゴミをスリットから排出します。



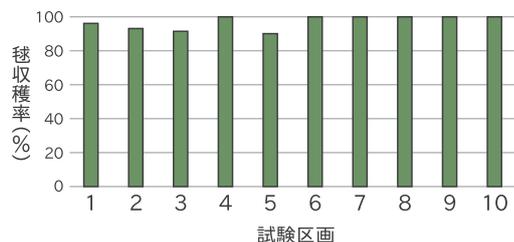
⑤ のれんフラッパー

コンテナへ投射時に、余計なゴミをのれんフラッパーで落とします。

茨城県農業総合センター園芸研究所 〈 実証試験データ 〉

※使用した機械：BXC800/M8(旧モデル) - MP750

「穂」の収穫率 90% 以上



「果実」の収穫率 70% 以上

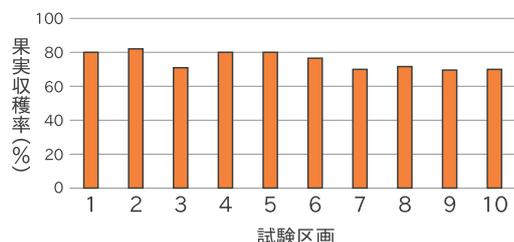


図1：クリ収穫機の穂・果実収穫率

※調査方法

8月上旬草刈り後に実施。株間2~3m×列間4mの並木植えクリほ場に、穂・果実の密度の異なる10区画(1区画10㎡)を設置し、それぞれの収穫率を調査した。

収穫作業時間を 約 3分の1 に短縮

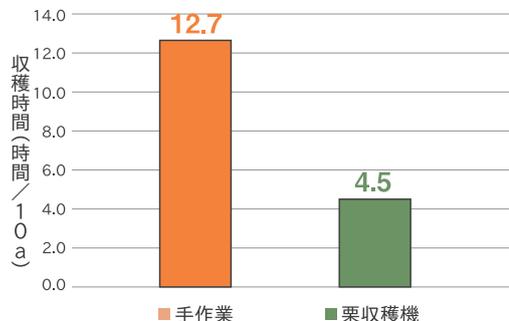


図2：手収穫・機械収穫の収穫時間シミュレーション結果

※シミュレーション条件

ほ場条件：面積10a、株間2~3m×列間4mの並木植え

収穫条件：R3年の収穫実績より落果量を推測し、

日ごとの落果量に応じた手収穫作業時間を算出した。

※数値は収穫始~終期まで9回収穫した合計値。手収穫・機械収穫いずれも穂・果実を拾う時間のみを計測し、カゴの入れ替え時間等は含まない。

手 収 穫：30~50代男性1人がトングを使用し、

休憩を取らず穂・果実をすべて収穫。

機械収穫：収穫幅0.75m、直進時時速2.88km、旋回は1回10秒として

計算(0.5時間/10a・1回)収穫率は左図と同等。

//// BX800/M8-MP750仕様

品 名		マロンピッカー
型 式		BX800/M8-MP750
全 長 × 全 幅 × 全 高 (mm)		移動時：1,930×1,240×1,035 作業時：2,235×1,240×1,035
総 重 量 (k g)		198
車 速 (k m / h)		前進：①1.2 ②2.06 ③2.98 ④5.13 後進：①1.3 ②2.24
能 率 (反 / 時 間)		①0.9 ②1.6 ③2.3 ④3.9
本 体	車 輪	前輪：樹脂タイヤ 後輪：タイヤ16×7.00-8
	ハンドル 左 右	ワンタッチ可変式(5段階)
	ハンドル 上 下	ワンタッチ可変式(4段階)
	走 行 ク ラ ッ チ	ベルトテンション
	走 行 ベ ル ト	走行：VベルトSA-30×1本
作 業 部	作 業 幅 (mm)	750
	ブ ラ シ 高 (mm)	0~60(無段階)
	本機ベルト (BX800)	作業：VベルトSB-46(W800)×1本
	作業機ベルト (MP750)	-
	作 業 ク ラ ッ チ	ベルトテンション
	型 式	三菱/GB290LN-453
エ ン ジ ン	出 力 kW (ps)	5.9(8.0)
	油 量 / 燃 料	1.0L/6.0L
	E/G コ ー ド No.	9015-1820
製 品 コ ー ド N o .		
価 格 (税 込 1 0 %)		¥869,000